

The Democratic Party



綾の会通信 No61

山木綾子を支える会

やまきあやこ



2009年3月30日

号外 川越版

民主党プレス民主編集部

〒350-8601

川越市元町1-3-1

川越市役所 6F

民主党議員団内

事務所 350-1137

川越市砂新田4-4-6 サングリーン高階

TEL・FAX 049-249-3306

e-mail a-yamaki.11-26@nifty.com

URL <http://www.yamaki-ayako.com>

自宅 350-1137

川越市砂新田5-27-9

TEL・FAX 049-242-3543

三月議会報告

21年度 暫定予算

一般会計1千23億円

川合新市長になって、予算議会とも言われる3月議会が3月25日に閉会し、市長より提案された平成21年度一般会計予算をはじめとして、川越市個人情報保護条例の一部を改正する条例を定めると共に40議案を審議した。

新年度予算は暫定予算といいながら、財政調整基金や職員退職金積み立て基金を取り崩して、前年度当初予算比で2.2%増となる総額1千23億円と言う大きな予算規模となったが、民主党としては、当初予算で、これだけ大きな予算措置が必要であったか少々疑問に思うと共に、6月補正で、川合市長の政策(肉付け予算)の為の予算がどのくらい組めるのか心配になった。

人件費

団塊の世代の職員の大量退職に伴う退職手当の増が見込まれることから前年度当初予算比2.7%増

扶助費

生活保護費等の増が見込まれることから前年度当初予算比8.6%増

公債費

総務債、土木債等の償還金の減が見込まれ3.8%の減

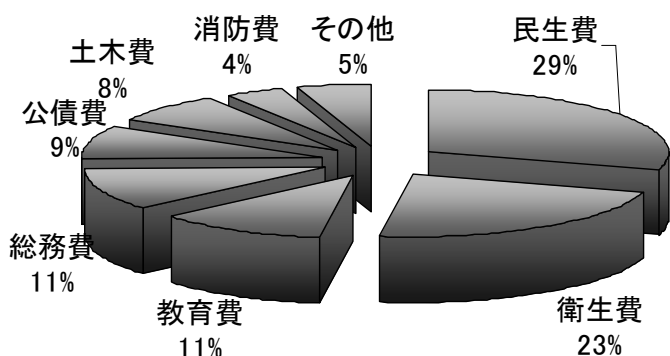
普通建設事業費

新清掃センター建設・なぐわし公園整備等前年度当初予算比2.8%増

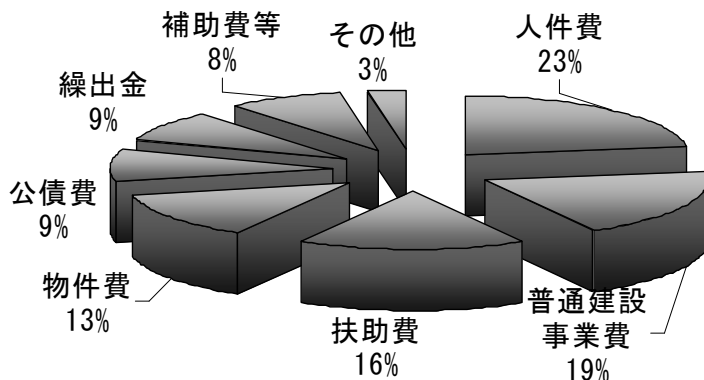
繰出金

介護保険事業特別会計への繰出金増が見込まれ前年度当初予算比0.7%増

歳出予算の目的別構成割合



歳出予算の性質別構成割合



川合市長の市政方針と質疑

民主党議員団としては先の川越市長選では川合市長を支持いたしました。しかし、今後は市政の執行側と議会人として、それぞれの立場に於いて、市政運営に全力を尽くして行きたいと考えます。

市政運営の基本姿勢

川合市長は『改革・公平・公正の三点を市政運営の基本姿勢に、行政改革と都市基盤整備等を推進していきたい』と述べた。また、大きく次の事業を推進していきたいとも述べた。

- ①. 中心市街地の交通渋滞の解消
- ②. 幼稚園の就園奨励費の増額と保育園待機児童の減少
- ③. 雇用創出センター設置
- ④. 新斎場建設
- ⑤. 小学生・後期高齢者の医療費無料化の段階的实施
- ⑥. 中・高一貫校設置
- ⑦. 市長の報酬・退職金削減 等

山木綾子の質疑

山木綾子議員は民主党市議団を代表して次の項目について質疑した。

1. 女性に対する政策について
 - ①. 地域での子育て支援と安心して子どもを産み育てられる社会の実現に努めるとの見解について（保健・医療・福祉）
 - ②. 管理職に女性職員の登用と各委員会の女性委員比率のクォーター制を目指すとするがどう取り組むのか（しくみづくり）
 - ③. ドメスティクバイオレンスの防止に向けた取り組みについてどのように考えるのか。
2. 保健・医療について、近年、心の健康に関する問題が多く生じてきているが、どのような対策を考えているのか。

3. 文化・スポーツを市長の下で振興したいとあるがどのようなことか。市長部局に文化・スポーツ事業を移管すると教育委員会も大きく変化する事になる。この場合教育委員会は学校教育に特化してしまうということになるのか。



4. 下水道使用料の見直しについては、昨年度下水道料金等審議会から答申がなされているが、この内容を具体化し値上げするつもりなのか。
5. 農業振興を図るためにも、学校給食において地産地消を具体的な数値目標を持って進めて欲しいと考えているが、このことに対しての考えはあるのか。
6. 市は様々な事業絵を進める上で自治会やNPOと共に事業する事が多いが、自治会と比べてNPOはまだ歴史が浅いため、しっかりと支援を行って欲しいと考える。
7. 今回の当初予算は骨格予算であると聞いているが、基金の取り崩しによる財源の確保が行なわれており、新たな施策を展開していくことは、難しいのではないのか。

山木綾子の一般質問

【これからの川越市教育委員会のありかたについて！！】

【質問】

川合市長の市政方針の中で「文化やスポーツを更に振興するために関係機関とも協議しながら市長のもとでこれからの施策を一層推進してまいります」とありますが、教育委員会の所管事務の一部を市長部局に移管できる根拠と景について伺いたい。

【教育総務部長答弁】

平成20年4月の教育基本法の改正によって、教育における地方分権の一環として、条例で定める所により地方公共団体の長は、文化に関すること、スポーツに関すること（学校における体育に関すること除く）を管理し、執行することができる事となった。

【質問】

試行中の高階市民センターは、公民館と関連が深いが、新たな組織の中で、市民センターは、どのような位置づけとなるのか。

【総合政策部長答弁】

平成21年度に新組織を検討する場合には、教育委員会が所管する公民館事務も移管するか否かの検討の対象となりますので、その過程で市民センターの在り方も十分に議論していき、適切な組織上の位地づけと、施行中の課題や問題点の解決を図って行きたい。

【質問】

市長が表明しているように、新組織を平成22年度から施行すると、過去の組織改正の例から言えば、平成21年12月定例会に改正議案を上程することになるが、検討期間が短すぎるのではないか。

【総合政策部長答弁】

通常の大規模な組織改正と同様に、見

直しのため全庁的な専門組織を早急に設置し、全部署への調査や他の中核市、県内市など総合的な検討を行っていき、スケジュール管理を徹底するなど、効果的かつ集中的な審議検討体制を整備し、十分な審議検討を行って行きたい。

【質問】

教育委員会の事務の多くが市長部局に移管された場合、教育委員会は学校教育に特化されていくのか。

【教育総務部長】

文化・スポーツ等の教育委員会の事務の多くが市長部局に移管された結果、教育委員会が、児童生徒の学校教育に特化すると考えられる。

【質問】

市長は文化スポーツ部を市長部局に新設すると掲げているが、いつまでにどの程度の内容で、改正する予定なのか所見を伺いたい。

【市長答弁】

平成22年4月から文化とスポーツを所管する部を市長部局に新設する予定。その内容は、

- ・文化財保護以外の文化に関する事務
 - ・スポーツに関する事務
 - ・学校教育・社会教育に関する物以外の生涯学習支援に関する事務
- など、移管する範囲を関係機関と十分に検討して、教育委員会から移管する事務と市長部局の所掌事務のうちで文化、スポーツに関する事務を統合し、文化・スポーツ部の範囲を決定して行きたい。

時間の無い中での機構改革に、公民館を乗せるということは大きな冒険のように思われてならない。

【元市職員による業務上横領事件について！！】その2

財団法人川越市青少年健全育成協会の事務を担当していた元川越市職員が起こした業務上横領事件の報告がなされた。

私自身当時は、百条委員会の委員として真相の究明にあたったが、当時は関係書類が川越警察に応酬されていたこともあって詳細な書類の突合せ等ができなかった。その後川越警察から関係書類が戻されたことにより、今回の報告となった。そこで何点か伺いたい。

【質問】

有識者による「財団法人川越市青少年健全育成協会業務上横領事件に係わる使途不明金調査委員会」を立ち上げ調査したと聞くが、その経過について伺いたい。

【市民部長答弁】

調査の結果明らかになった使途不明金の総額5,563万2,755円から、既に示談を結んでいる示談金2,100万を差し引いた残りの金額3,463万2,755円を新たな協会の損害金として、元市職員に対して全額を損害賠償請求してい

く決議が、理事会でなされた。

【質問】

市民への報告については、どのように考えているのか。

【市民部長答弁】

市としては、当該損害賠償請求の結果が確定し、その内容が協会から、市へ報告がなされた段階で、改めて市民の皆さまに報告していきたい。

【質問】

川合市長は、当該事件について、前市長から引継ぎをされたか。

【市長答弁】

本件につきましては、前市長からその概要並びに経過等につきましては引継ぎを受けております。

先ほど、市民部長が、当該損害賠償請求の結果が確定し、その内容が協会から、市へ報告がなされた段階で市民の皆様へ報告と答弁いたしました。この事は市民の皆さまの関心もとても深い事でもありますので、3月25日の広報で報告をしていきたい。

バスで行く**美術館の旅** シリーズ第4弾
県立山梨美術館&

影絵の森美術館

- 【日 時】 5月26日
【集合場所】 ①山木事務所 午前7時30分
②川越駅西口 午前8時
どちらも集合・出発
【参加費】 お一人様 6,000円
【定 員】 40名（先着順）
【申込み締切】 5月17日（土）
（定員になり次第締め切ります）
【申込み先】 TEL・FAX 242-3543（山木）
TEL・FAX 245-6172（吉田）
山木携帯 090-8591-1002

毛布とやさしさ
アフリカへ



アフリカへ毛布を送る運動

- 【受付期間】 5月31日（日）
【連絡先】 栗原 常 匡
携帯 090-1461-1185
アフリカに毛布をおくる運動川越支部